

令和7年度 大迫高等学校教職員 働き方改革アクションプラン

～教職員のウェルビーイングの確保に向けて～

大迫高等学校では、「岩手県教職員働き方改革プラン(2024～2026)」に基づき、以下の取組により、「学校における働き方改革」を推進します。

1 現 状

【定量的現状】

- ◆「岩手県教職員働き方改革プラン(2024～2026)」目標達成状況
時間外在校等時間が月80時間以上の者
・R6年度：1人(14名中)→7.1% (参考：R5年度は1人)
- ◆年次休暇の取得状況について(年間一人当たりの平均取得日数)
・R6年度：15日(参考：R5年度は17日)

【定性的現状】

- 教職員の意識
 - ・授業でのICT活用、業務のDX化に向けた取組を全教職員で実行している。
 - ・時間外勤務している教職員が固定化する傾向がある。
- 管理職のマネジメント
 - ・日常の業務において、効率化・簡素化できるものはないか留意し、改善できると判断した場合は、速やかに実行している。

2 目標・目指す姿

県の働き方改革プランの目標を前提に、以下の目標を設定します。

【学校独自の目標】

- 教職員一人当たりの平均時間外校等時間が月80時間以上を0人とすることを目指します。
- 年間一人当たりの年次休暇取得日数17日以上を目指します。

【目指す姿】

- ・こどもたちへの質の高い教育を持続的に提供し得る観点から働き方の見直しが図られている。
- ・教職員が、健康を維持しつつ、業務に取り組んでいる。
- ・教職員が、家庭のための時間や自由時間を確保できている。

3 (2を達成していくための) 具体的取組内容

(1)	教職員の健康管理	<ul style="list-style-type: none">・管理職が、年次や振替休暇の取得について積極的に呼びかけを行います。・月の時間外在校等時間が多くなっている教職員に声掛けし、業務量が過重になっていないか確認します。過重になっている場合は、他の教職員と分担させます。
(2)	学校における業務改善の推進	<ul style="list-style-type: none">・教育活動において効果的なICT機器活用の検討と実証を継続します。・校内の業務や各種調査についてはTeamsやFormsを活用し、効率化します。
(3)	業務の明確化・適正化の推進	<ul style="list-style-type: none">・朝夕の勤務時間外、学校閉庁日における留守番電話対応、保護者面談の勤務時間内での対応等を文書やHPでお知らせし、働き方改革の取組について保護者や地域の方に理解いただけるよう周知徹底します。
令和7年度 重点取組事項		<ul style="list-style-type: none">・時間外在校等時間(週休日の部活動指導従事時間を含む)が月45時間、年360時間を超えないよう、教職員への働きかけを行います。

4 アクションプランの周知方法

- ・プランを職員会議等を通じて教職員にも周知すると共に、学校のHPに掲載します。